



- 10th International Conference on Trends in Welding Research & 9th International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- Best Author 賞 (JWS Best Author Award) の推薦について
- WEB 掲載の溶接学会論文集 33 巻 (平成 27 年度) の印刷物の購入について
- 「先進観察技術活用研究会」アドホック研究会 会員募集
- 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ
- 平成 28 年度春季全国大会講演概要の頒布について
- 福井大学大学院工学研究科機械工学専攻教員公募
- Mate2016 第 22 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
-センシング技術で創造する安全・安心な社会- 参加者募集

10th International Conference on Trends in Welding Research & 9th International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)

October 11-14, 2016
Hitotsubashi Hall, Tokyo, JAPAN
<http://trends2016.org/>

Organizing Societies

- American Welding Society (AWS)
- Japan Welding Society (JWS)

Conference Co-chairs

- Toshihiko Koseki, The University of Tokyo, Japan
- Stan David, Oak Ridge National Laboratory, USA
- Tarasankar DebRoy, Penn State University, USA
- Thomas J. Lienert, Los Alamos National Laboratory, USA
- Akio Hirose, Osaka University, Japan

Welcome to Tokyo in 2016

The 10th International Conference on Trends in Welding Research will be held from October 11 to 14, 2016, in Tokyo, Japan, for the first time outside of USA. The conference covers not only the fundamental science of welding and joining but a wide variety of applications of welding and joining different materials in different industries, which include various approaches of theoretical analysis, experiments and numerical simulations. Also, the conference aims to provide a wonderful opportunity of technical discussions, having leading welding and joining scientists and engineers from all over the world. The 9th International Welding Symposium of Japan Welding Society will be jointly held during

the conference. So, we cordially invite you to the conference and hope that you will enjoy the technical discussions at the conference and also the best season of Japan.

Topics to be Covered

- Fundamentals and applications of welding and joining processes
- Microstructure and metallurgical behaviors in welds
- Weldability of different materials
- Weld properties and performances
- Residual stress and distortion in weldments
- Monitoring, sensing and controls of welding
- Testing and inspections for weld integrity
- Welding practices in industries
- Modeling and simulation of weld behaviors

Important Dates

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| • March 31, 2016 | Abstract Submission |
| • June 30, 2016 | Full Paper Submission |
| • May 31, 2016 | Pre-registration (Early) |
| • September 2, 2016 | Pre-registration (Regular) |

For More Information

Visit the following website, <http://trends2016.org/>

For Contact

Trends2016 Secretariat:
 Mita MT Bldg. 8F, 3-13-12 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-0073,
 Japan
 E-mail: twr2016@issjp.com

会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、7月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作(約5~10分)をお願いいたします。

- ①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン(会員情報等変更の有無にかかわら

ず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

Best Author賞(JWS Best Author Award)の推薦について

下記により Best Author 賞の推薦を募集いたします。

本年第1号(1月号)から第8号(12月号)までに会誌に掲載された記事の中から優秀と認められるものを、巻号、題名、著者、推薦理由を記して、1編、編集委員会宛ご推薦下さい。

(平成28年1月29日まで)

【賞の概要】

会誌「溶接学会誌」に発表された記事のうち、特に多数の会員の研鑽、及び、学術、技術の向上、普及に貢献した記事の著者に授与される。

【選考委員】

同賞選定委員会

委員長：会誌編集委員長

委員：編集委員より数名(各分野代表+総合企画+副委員長)

【選考方法】

会誌編集委員および会員モニタの推薦による記事の中から選定委員会で選定する。

【選考基準】

溶接学会誌の本年第1号(1月号)から第8号(12月号)までに掲載された記事の中から、優秀と認められるものを、原則として毎年数編以内選定する。

【表彰等】

4月通常総会席上で表彰、賞状の贈呈。

【推薦書送付先】

(一社)溶接学会 編集委員会宛

WEB掲載の溶接学会論文集33巻(平成27年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものをご購入される方は、下記により、平成28年3月31日までに申込み下さいませようお願いします。

溶接学会論文集33巻(平成27年度)

【価格】 15,500円/冊(税込・送料別)

【申込先】 「お名前(会社名)」「送付先住所」「冊数」
をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社

TEL: 06-6441-0075

FAX: 06-6443-5815

「先進観察技術活用研究会」アドホック研究会 会員募集

1. 趣旨

近年の観察技術の進歩は著しく、特に従来困難であったスケールもしくは時分割で、多くの情報を取得することが可能となっています。量子ビーム(放射光・中性子)施設一般ユーザの利用、ハイスピードカメラによる二次元温度測定、マイクロスケールでの結晶方位解析などが、その良い例です。しかしながら、これら先進観察技術へのファーストコンタクトを提供する機会は決して多いとはいえ、コーディネータ的役割をする機会が必要となっています。本研究会はその機会を供給する、つまり研究会参加者と各施設・装置関係者をつなぐ役割を目指し、溶接学会員の研究力のさらなる向上に資することを目的としています。

そのため、研究会幹事には、量子ビーム施設関係者や、二次元温度測定のエキスパートにご参加いただき、上記意図に沿った企画の実施にご協力いただく段取りとなっております。先進観察技術と溶接学会員をつなぐ中継拠点として機能することを目指します。

2. 内容

放射光施設、中性子施設の利用促進部等と連携し、利用計画・申請・準備等に関する具体的な方法論を身につける、また実施例を勉強するためのセミナーを開くことを予定しています。また、ハイスピードカメラによる二次元温度測定(溶接プロセス観察)デモに関するセミナーも企画しています。

本研究会は、関連セミナーの紹介、セミナー企画、研究相談拠点の設置、を通じて、研究会委員の先進観察技術活用を可能な限り支援、継続的な関係構築をサポート致します。

平成28年2月1日には、研究会活動第一弾として、SPring-8利

用推進協議会 研究開発委員会主催の第11回金属材料評価研究会の協賛を行います。

3. 研究期間

平成28年1月~平成28年12月

4. 組織

主査：寺崎 秀紀(熊本大学)

幹事：小溝 裕一(高輝度光科学研究センター)、篠原 武尚(日本原子力研究開発機構)、菅浦 敬久(日本原子力研究開発機構)、山本 元道(広島大学)。

委員：大畑 充(阪大)、梶原 堅太郎(高輝度光科学研究センター)、上月 渉平(JFE)、佐藤 裕(東北大)、佐野 智一(阪大)、瀬知 啓久(鹿児島県工業技術センター)、田中 学(阪大接合研)、西川 宏(阪大接合研)、松田 昇一(琉大)

5. 参加資格

・溶接学会員である方が望ましい

6. 申込方法

氏名・所属・部署・署名・連絡先(住所・TEL・E-mail)・専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。

寺崎秀紀(熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

E-mail: terasaki@mech.kumamoto-u.ac.jp

溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ

1. 全国大会講演概要がデジタル化されました

平成 27 年度春季全国大会より全国大会講演概要がデジタル化されました。全国大会運営委員会では、学会員の皆さんにとって魅力のある全国大会を目指し、議論を重ねて参りました。その第一弾は、平成 25 年度秋季大会より開始しました「ポスターセッション」です。また、続く第二弾は、平成 26 年度春季大会より開始しました「優秀な口頭発表に対するエクスプレス投稿の特典贈呈」です。そして、今回、第三弾として、講演概要のデジタル化を実施いたしました。

タブレット端末やスマホなどモバイルツールが普及する今日、何時でも何処でも気軽に講演概要の内容をチェックしていただけるとともに、図表がカラーとなりますので、より一層、内容の理解も容易に深まるものと思います。

全国大会運営委員会では、「いいね！全国大会」をスローガンに、新たに第四弾、第五弾の魅力あるサービスを考えて参りたいと思います。デジタル化に伴い講演概要の取り扱い、講演概要の配布方法、全国大会参加登録方法が変わりましたので、以下にご案内申し上げます。

2. デジタル講演概要の配布方法

配布方法はホームページからのダウンロードのみとなります。従前の冊子など印刷物としての配布は廃止いたしました。ダウンロードができる期間は、全国大会開催の 1 ヶ月前から J-Stage 公開日迄です。

- 会員、賛助会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、デジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。
- 非会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、抄録集のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail で送付します。講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードは、全国大会会場での受付の際にお知らせします。

3. 平成 28 年度春季全国大会 参加登録期間

平成 28 年 3 月 14 日（月）14：00～全国大会当日

4. 参加登録

<http://www.jweld.jp/>

登録の際に「**会員番号**」が必要です。事前にご確認の上、お手元にあらかじめご用意ください。

会員番号は溶接学会誌送付状宛名欄に記載されている 7 桁の数字です。

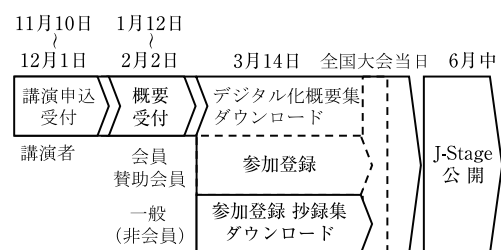
5. 参加登録方法

参加登録は事前に上記ホームページで行ってください。概要集のデジタル化に伴い、参加費に講演概要の閲覧・取得も含まれるようになりました。従前のように、参加費と講演概要購入費が別々

になっておりませんので、ご注意ください。参加費は、正員・賛助員 10,000 円、学生員 5,000 円、非会員（一般）20,000 円、非会員（学生）10,000 円です。従前の参加費と講演概要購入費の合計金額よりも割安になってお得になりました（非会員を除く）。

参加費の支払い方法につきましては、従前どおりです。全国大会開催中の受付で現金のみの支払いとなります。また、参加登録後の取消しは認めません。参加登録後、諸事情にて大会会場に会場できない場合には、代理の方に参加費の支払いをしていただくか、後日、学会へ直接お支払いいただくこととなります。なお、講演者は、講演登録と同時に自動的に参加登録を行った扱いとなりますので、別途、参加登録は不要です。講演概要が公開された際にデジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

以下にデジタル化に伴う参加登録、講演概要ダウンロード、J-Stage 公開までの時間的な流れを図示しました。



<<< ご注意ください!! >>>>

●紙書籍の全国大会講演概要は発行しません

デジタル化に伴い、紙書籍の講演概要は発行いたしません。また、全国大会会場での印刷サービスはございませんので、紙面への印刷は予めご自身でご用意ください。

（大会終了後、希望者へ別売にて印刷版講演概要を販売予定です。ご希望される方は、下記会告「平成 28 年度春季全国大会講演概要の頒布について」をご参照ください）

●会場でのインターネット接続サービスはありません

会場でインターネット接続をご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されるか、またはご自身で印刷してご持参されることを推奨します。

●講演概要の閲覧のみのサービスは提供しておりません

講演概要のダウンロードサイトでの事前閲覧および全国大会当日の閲覧は、全国大会の参加登録を行った方々のみ可能となります。すべての講演概要は大会終了 2 ヶ月後以降 J-Stage で一般公開されますので、全国大会に参加しない方々は J-Stage を利用して講演概要を閲覧ください。

*J-Stage：独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が運営する総合学術電子ジャーナルサイト

平成28年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成28年度春季全国大会講演概要

価格：12,000円（税・送料込）

発送時期：平成28年6月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X : 03-5825-4331

申込締切：平成28年4月28日（木）

入金締切：平成28年5月31日（火）

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

福井大学大学院工学研究科機械工学専攻教員公募

1. 募集人員 講師又は助教 1名

（助教として採用された場合、任期は5年間の年俸制で助教としての再任はなし。ただし、業績の成果によっては、任期中又は任期終了後引き続き任期の定めのない講師又は准教授として雇用される場合あり）

2. 所 属 大学院工学研究科機械工学専攻機能創成工学講座

3. 専門分野 融体加工学（溶接や鋳造等）に関連する分野

4. 担当授業科目

博士前期課程：上記の専門分野あるいはCAE教育に関連する講義1科目

学部：融体加工学（溶接や鋳造、金属材料学）に関する専門科目、演習・実験系科目の内から2～3科目

5. 応募資格

- (1) 着任時に博士の学位を有していること
- (2) 上記の専門分野及び担当科目について教育や研究上の業績を有していること
- (3) 研究活動が精力的であり、かつ学生の指導に情熱的であること

6. 着任時期 平成28年5月1日

7. 提出書類

「http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/pdf/DaM_20160105.pdf」でご確認ください。

8. 応募締切り 平成28年1月5日（火）当日消印有効

9. 応募書類送付先

〒910-8507 福井市文京3-9-1

福井大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 専攻長 永井 二郎

電話：0776-27-8537, Fax：0776-27-8748,

E-mail：nagai@u-fukui.ac.jp

* 封筒に「教員応募書類在中」と朱書の上、上記宛に簡易書留でお送りください。

10. 問い合わせ先

福井大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 竹下 晋正

電話：0776-27-8530, Fax：0776-27-8748,

E-mail：takesita@u-fukui.ac.jp

11. 備 考

- ・提出書類に記載された個人情報は、「国立大学法人福井大学の保有する個人情報の保護に関する規則」の規定に基づき適正に管理を行い、今回の採用人事以外の目的には使用いたしません。
- ・書類選考の後、面接を行います。面接候補者には追加資料の提出を依頼することがあります。
- ・国立大学法人福井大学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
- ・福井大学の定年は65才です。
- ・機械工学専攻のホームページアドレスは<http://eng.eng.u-fukui.ac.jp/mech/>です。

Mate2016 第22回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム -センシング技術で創造する安全・安心な社会- 参加者募集

日 時：平成 28 年 2 月 2 日（火）8：50～17：45
2 月 3 日（水）8：50～17：20

会 場：パシフィコ横浜 会議センター
横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1

主 催：(一社)スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会
(一社)溶接学会 マイクロ接合研究委員会

共 催：(一社)エレクトロニクス実装学会
(公社)化学工学会 エレクトロニクス部会
(一社)レーザ加工学会

協 賛：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信
学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日
本溶接協会

開催趣旨

日本のエレクトロニクス産業は、この 20 年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

【シンポジウム参加登録費（論文集代を含む）】

- 主催団体個人会員 : 20,000 円
- 大学・国公立研究機関 : 20,000 円
- 口頭発表者 : 20,000 円
- 主催団体維持・賛助会員 : 25,000 円
- 共催団体会員 : 25,000 円

- 協賛団体会員 : 30,000 円
- 一般 : 35,000 円
- 学生 : 10,000 円

【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウム URL より、平成 28 年 1 月 15 日（金）までに参加登録を行って下さい。

<http://sps-mste.jp/mate2016/src/index.html>（11 月中受付開始）

○参加費のお支払いは銀行振込にてお願い致します。振込期日までにお振込みが間に合わない場合は、当日現金にてお支払い願います。

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通 0 9 7 8 6 7 3

口座名：Mate 組織委員会[メイトソスキイインカイ]

振込期日：平成 28 年 2 月 29 日（月）

○シンポジウム 1 日目に懇親会を開催します。シンポジウム参加申込時にお申し込みください。

懇親会参加費：5,000 円

【問合せ、申込先】 Mate 2016 事務局

(ものづくりリエゾンオフィス (MLO) 内)

TEL：06-6878-5628 FAX：06-6879-7568

E-mail：mate@sps-mste.jp

シンポジウム URL：http://sps-mste.jp/mate2016/src/index.html

プログラム（セッション名と発表件数）

●プレナリーセッション（2 月 2 日（火）13：50～15：30）

「センシング技術で創造する安全・安心な社会」

1. “ぶつからないクルマ？” スバルが生んだアイサイトの秘密
樋渡 穰（富士重工業株）
2. ウエアラブル機器の実装技術の現状と展望
間ヶ部 明（セイコーエプソン株）

2月2日(火)8:50～17:45	2月3日(水)8:50～17:20
[A-1] ソルダリング (5件)	[A-3] パワーデバイス(1) (6件)
[A-2] ソルダ材料 (6件)	[A-4] ナノ・マイクロマテリアル (5件)
[B-1] プリントブルエレクトロニクス (4件)	[A-5] パワーデバイス(2) (4件)
[B-2] 固相・界面接合 (6件)	[A-6] パワーデバイス(3) (4件)
[C-1] 熱マネジメント (講演1件+論文3件)	[B-3] 信頼性評価技術 (6件)
[C-2] 樹脂実装プロセス (6件)	[B-4] システム化 (講演1件+論文3件)
プレナリーセッション 13:50～	[B-5] MEMS・医療センサ(1) (講演1件+論文3件)
ポスターセッション 15:45～	[B-6] MEMS・医療センサ(2) (4件)
懇親会 18:00～	[C-3] マイクロ接合・加工 (6件)
	[C-4] 回路基板・パッケージ (講演1件+論文3件)
	[C-5] 3D実装 (5件)
	[C-6] めっき (4件)
	(依頼講演4件+一般論文発表83件 合計87件)